



# 巻の宝を見つけよう！ (3年生)

巻南小学校



巻には、江戸時代から伝わる「鯛車（たいぐるま）」「巻菱湖（まきりょうこ）」「のぞきからくり」という宝があります。私たちは、地域の方からお話を聞いたり、実物を見せてもらったりして、巻の歴史やすばらしさを学びました。そんな巻の宝を紹介します！

**鯛車** まちなかでよく見かける、江戸時代から伝わる伝統的な巻の郷土玩具です。商店街の名前にもつけられるなど、まちづくりにも活用されています。

鯛車のことがたくさん学べる鯛の蔵に行ったよ。



ひもを引くと、カラカラ後ろについてくるね。楽しいな。



おめでたいものだから、赤色をしているよ。



中にろうそくを入れると、ひれがパタパタ動くよ。

竹で作った枠に、和紙を貼ってできているんだ。



昔はお盆の時に、男の子が引いたんだよ。



鯛車焼というお菓子があって、地元の方に親しまれているよ。

「北國街道（ほっこくかいどう）ガイド 河合さん」地域の宝を途切れさせることなくつなぎ続け、守り通した町の人たちの思いが込められた郷土愛の結晶です。

## 子どもの声

### 「鯛車について」

昔は鯛車を作る人が少なかったそうですが、教えてもらって作れる人が増えたそうです。鯛車は、子どもの成長を祝い、巻の心が詰まっているものです。

### 「巻菱湖について」

巻菱湖がいろいろな成果を残せたのも努力の結果なので、すごいと思いました。ぼくも、巻菱湖のように習字の練習を頑張って上手になりたいです。

### 「のぞきからくりについて」

初めて見たのぞきからくりに感動しました。また、お祭りの時にも使ってほしいです。巻のみんなや、他の県の人にも見てもらいたいです。

## 巻菱湖

江戸時代に活躍した巻出身の書家です。明治に入ると国の教科書に巻菱湖の字体が用いられました。



江戸時代幕末の三筆で弟子は1万人を超えたと言われています。

巻菱湖って初めて知った！巻の人なんだね。



この将棋の駒も巻菱湖の書体なんだって。菱湖流と呼ばれているよ。



「巻菱湖紙芝居語り手 土田さん」書体が一番きれいと言われてます。心を落ち着け、筆を執る、そんな時間をもって成長してほしいです。

将棋の駒や祭りの幟（のぼり）の字として、今も親しまれています。



矢川ふれあい公園 巻菱湖碑

江戸時代に200種類以上の習字手本を出版し、多くの人その手本で習字をしています。

## のぞきからくり

全国で現存する中で、唯一実演可能なものが巻に保存されています。



のぞきからくりの一節「花のお江戸で名も高き〜」

穴をのぞくと、立体的に絵が見えます。

「のぞきからくり語り手 山添さん」初めて見る、のぞきからくりにみんな真剣でした。語り手をやっていて嬉しく思いました。

江戸時代の終わり頃から、昭和初期まで続いた大道見せ物なんだって。



巻地区には、2台の「のぞきからくり」があります。



初めて見たけど、絵が変わっておもしろいな。

昔作られたのに、今も見られるなんてすごい！

新潟市指定有形民俗文化財